

患者指導用シート

注射手技上の注意ポイント 〈皮下注射部位〉

針はまっすぐに取り付けてください

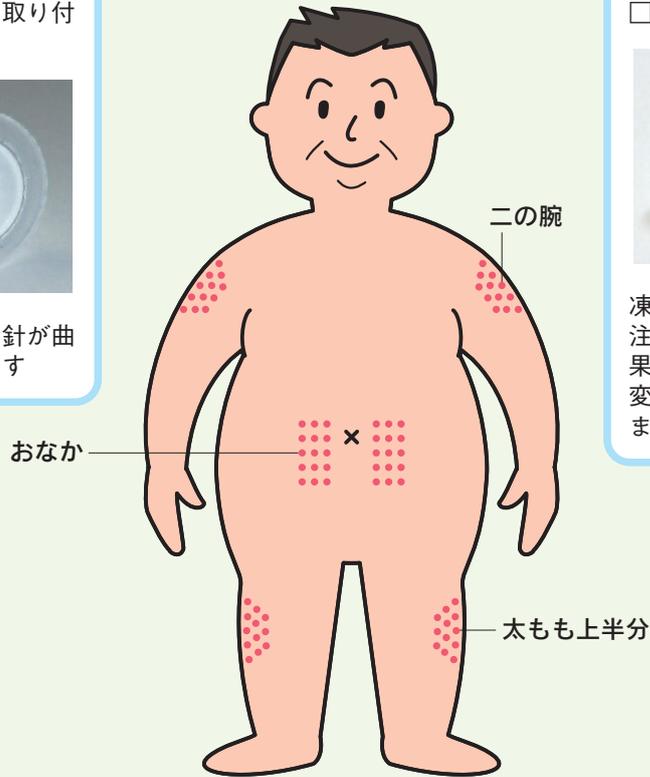


ゴムに針が残る、針が曲がる原因になります

凍らせないでください



凍結により、体積が増え注入器が壊れる、薬の効果が変化する、注入量が変わるなどの原因になります



途中で注入ボタンを押す力を弱めたりしないで、押したまま針を抜いてください



途中で押す力を弱めると血液混入の原因になります

針をはずして保管してください



針をしたまま保管すると、注入器が壊れる原因になります

皮膚が硬くなることを防ぐために注射場所は毎回変えてください

正確な量を注入するために注入ボタンは最後まで押し切ってください

*写真は同一様式によるものでのトラブルを紹介したものです

不明な点はいつでもご連絡ください